

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

※ あてはまる□を☑または■で選択してください。

1. 学校概要

学校名 愛知県豊橋市立南部中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒441-8105
愛知県豊橋市北山町字東浦1番地4

E-mail : nanbu-j@toyohashi.ed.jp

Website : http://www.nanbu-j.toyohashi.ed.jp/nanbu-j/index1.htm

児童生徒数：男子 408 名 女子 382 名 合計 790 名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

<7月・1月>

○「老人福祉施設への暑中見舞い」

福祉委員が中心となり、校区にある老人福祉施設「弥生王寿園」へ暑中見舞いのハガキや年賀状を送った。

各クラスの福祉委員が学級でハガキを書きたい人を募り、ハガキに「お身体にお気をつけください」という言葉などを入れたりイラストを描いたりし、工夫をして書いた。



<「王寿園へ送った年賀状」>

<7月>

○「緑化委員による花ポットづくり」



<今年もお花を届けにきました！>

なまず池で拾った落ち葉を用い緑化委員を中心に堆肥づくりを行った。でき上がった堆肥を使い、緑化委員が毎日水をやり花を育てた。花が咲くと、その花ポットをいつもお世話になっている「子ども100番の家」に届け、地域の方に日々見守っていただいていることに感謝の気持ちを伝えた。

また、本校の横を通る渥美線の沿線にも花ポットを設置した。

<11月>

○「地域の環境を守りたいプロジェクト～なまず池の環境を守る活動～」



<本年度から活動場所に加わった小松神社>

参加希望人数が増加してきたため、本年度から清掃場所を拡大し、「なま隊」から「南部清掃隊」に名称を変更し、校区内にあるなまず池だけでなく小松神社も清掃場所とした。なまず池は164人、小松神社には68人の計232人の3年生生徒が参加した。なまず池では、地域の「なまず池を守る会」の方たちと一緒に、なまず池及び周辺のゴミ拾いや落ち葉拾いを行った。小松神社では小池町

自治会の方たちと

一緒に、神社敷地内の清掃活動を行った。全員で協力し、自分たちの地域にある公共の場がきれいになったこと、また、校区の方々に恩返しできたことを喜ぶ生徒がとても多かった。

約1時間の活動であったが、大きな袋何枚分もの落ち葉を拾い、学校へ持ち帰った。持ち帰った落ち葉は堆肥作りの材料とした。



<なまず池の落ち葉を集めたい肥に>

また1, 2年生も清掃希望者が多く, 学校の周りの落ち葉拾いやゴミ拾いをしたり, 校内を清掃するなど多くの生徒が環境美化への意識を高めた。

<2月>

○「地域の環境を守りたいプロジェクト～なまず池の環境を守る活動～」

校区内にあるなまず池で159名, 小松神社で62名の計221名の2年生希望生徒が清掃を行った。ゴミ拾いだけでなく, 池や境内の周辺の落ち葉拾いにも取り組んだ。

生徒会役員を中心に清掃場所の振り分けをしたり, 清掃道具を学校から歩いて運び, 拾ったゴミや集めた落ち葉を学校まで協力して運ぶなど, 生徒が中心となって活動に取り組んだ。

また2月の南部清掃隊も11月と同じように地域ボランティアである「なまず池を守る会」の方や「小池町自治会」の方々と活動することができた。



袋いっぱい集まった落ち葉は, 来年度の前期緑化委員による堆肥づくりや花ポットの贈呈のために学校に持ち帰った。事後のアンケートには「地域がきれいになって嬉しかった」という言葉や「落ち葉が資源としてリサイクルでき肥料になるので, たくさん集めることができ嬉しかった」という多くの感想が見られた。資源を大切に, 地域の緑化活動への意識を高めることができた。

<鳥やトンボも住みやすいきれいななまず池に>

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()